

# Art and Air

——空と飛行機をめぐる、芸術と科学の物語

2016年7月9日(土)～9月4日(日)

美術館では、「空」と「飛行機」をテーマとする特別展を開催します。「Art／芸術」と「Air／空」をテーマとするこの展覧会では、20世紀に登場した飛行機が発明されるまでの歴史や、「空を飛ぶこと」が人間にもたらした「鳥瞰」という新たな視点、そして、「空」と「飛行機」にまつわる作品や資料をおして見えてくる、人々の意識の継相や時代の精神について考察します。



飯川広重(名原川戸寛喜 深川陣助十万持)  
1857年公益社団法人川崎・杉子の重寶利画堂



「甲式四型折剣(日本美術製)フクロ」 孫沢航空資料記念館蔵



八戸市立高等学校政経学科 昭和51年度在籍生徒 指導:松本小九郎(紅の上とぶ船 絵巻編目より)星堂をペガサスと号す飛んでい(1976年 青森県立郷土館蔵)



成田亨(ウルトラマン創稿)1966年

青森県立美術館蔵  
©Toei Universe



松本幸士(宇宙戦艦ヤマト)1970年

作家蔵 ※歩歩画館  
©LapMousse・秋田書店  
企画協力 2180 Goodnature 2016

## ◎見てこう

### 航空ファン必見の展覧会

「空」と「飛行機」をモチーフとする美術作品をはじめ、大衆文化に普及した航空関連のポスターや雑誌、模型のほか、本誌プロバなど、さまざまな資料を展示します。  
ウルトラシリーズ、漫画、アニメファン必見の展覧会  
ウルトラスーツのデザインで知られる美野ファン、成田亨をはじめ、S.F.漫画ブームの先駆けとなった漫画家、松本幸士の原画作品、そして、宮崎駿監督に感銘を受けた見聞を紹介いたします。  
新進気鋭の登場人物ウルスラの描く絵の下敷きとなった見聞を紹介いたします。  
※ポイント③ 現代美術「空」必見の展覧会  
：参加作家・青秀祐、伊藤隆夫、大森記詩、岡本光博、坂東史樹

## ◎展示構成

### Chapter 1：見上げる一飛行・飛翔の夢



レオナルド・ダ・ヴィンチが考案した「グラダ」(複製)  
孫沢航空資料記念館蔵

これまでは空に対してどのような想いを抱いてきたのでしょうか。第1章では、レオナルド・ダ・ヴィンチが行った飛行の研究のほか、ライオン兄弟をはじめとする航空黎明時代に活躍したヒーロー、ヒロインの活動等を紹介いたします。

### Chapter 2：見下ろす一神の視点

かつて人間の到達できない「神の領域」であった空。第2章では、飛行機の発明によって、はるか上空から眺望するという新たな視覚体験がもたらした「支配・被支配」という仕組みや、人間の意識のありようを作品や資料をおして考察します。



撮影者不詳(不詳0-2860の富士山)1945年  
写真見聞=EU PHOTO MUSEUM

### Chapter 3：空と飛行機の物語

飛行機の登場から現在まで、そのイメージは人々どのように受け入れられてきたのでしょうか。第3章では、空と飛行機をめぐるイメージの変遷や多様性に焦点を当て、そこから見えてくる時代の精神について探ります。



「世界一偉大な飛行機」ポスター  
(デザイン:今村七郎)1939年 個人蔵

### Chapter 4：空を飛ぶこと

科学技術の発展がもたらした飛行機の普及により「空を飛ぶこと」が当たり前となった現代。最終章では、「空を飛ぶこと」自体をテーマとする作品に着目し、そこに内在する両義性や原初性などのテーマを読み解きます。



中村宗(車窓景)1962年(複製)1976年 鶴岡県立美術館蔵

休館日 | 毎週月曜日 ※ただし、7月18日(月・祝)開館し、翌19日(火)が休館日  
開館時間 | 9:30-17:00 ※最終入場は開館日の30分前まで ※ただし、7/29(土)、20日(土)14:00までで開催  
場 所 | 宮小牧市美術館博物館 企画展示室(第1展示室～第3展示室) 北海道宮小牧市東町3丁目番7号  
主 催 | 宮小牧市美術館博物館  
特別協力 | 青森県立美術館  
企画協力 | 工藤健志(青森県立美術館 学芸主幹)  
協力 | 所沢航空発祥記念館、宮小牧市美術親善の会、宮小牧市博物館友の会、  
機 模 | 宮小牧市工業会、宮小牧市信用金庫、北海道新聞社宮小牧支社、株式会社宮小牧民報社、株式会社三屋  
観 覧 料 | 一般600(500)円、高大生400(300)円、中学生以下無料  
※1・2階の観覧は18歳以上の体力が前提です。特別観覧料は観覧券の別料金。  
※ 特別観覧料の発給状況についてはお問い合わせください。 ※ 特別観覧料でなくても常設展、中展覧室に観覧いただけます。